

るための戦略的な教育情報の在り方と職員の立場からの関与の仕方について考察する機会にしたいと考えております。

Ⅱ. プログラム

13:00 開会挨拶 向 殿 政 男 氏 (私立大学情報教育協会会長)

13:05 講 演 「大学の自己革新を図る情報戦略」

自己変革するための意味のある情報とは何かを、大学教育の特徴・課題を踏まえて明らかにします。その上で意識変革を誘発する戦略的情報の抽出と利用に職員はどのように関わればよいかを提言します。

講 師：金子元久氏 (国立財務経営センター教授、研究部長)

14:15 講 演 「教育情報の構築体制と国際化に対応した情報戦略

大学の教育目標や方針に沿って必要となる情報を収集・分析・可視化し、全学的に統合管理する業務機能 (IR) の在り方・組織体制について提言します。また、国際化に対応した情報コンテンツを理解した上で、学生確保のための組織体制・ネット戦略の不備を指摘します。

講 師：吉田賢一氏 ((株) 日本総合研究所上席主任研究員)

15:25 休 憩

15:35 関連情報提供

「未来に立ち向かう人材育成を目指した教育改善モデルの研究」

「24年度情報関係補助金の概算要求とICT加算措置」

「教材・教育方法等のコンテンツの相互利用事業」など

説 明：本協会事務局

16:00 閉 会

Ⅲ. 参加対象

本協会では、「大学職員情報化研究講習会」にて一般職員を対象とした情報活用能力の開発を目指した事業を7月、11月に別途実施しています。今回の会議は、法人・大学の事務局長、部長、課長の管理職員、教育支援センター部門・FD関連部門・情報センター部門等の管理者の方々を対象とするものです (代理参加は認めません)。なお、管理職、部門長の本人参加には、1大学4名までの一般職員の参加が可能です。

参加状況は、67大学から97名の参加と昨年度より減少した。

1-3 研究会等のビデオ・オンデマンド配信

大学教員のファカルティ・ディベロップメントの研究資料として、教育改善のための教育方法及び教材開発、教育・学習支援の情報通信技術活用などの講演、事例紹介の情報を著作権処理済みのもののみデジタルアーカイブして学系分野別に整理し、希望する会員に有料でビデオ・オンデマンド配信している。

コンテンツは21年度168件、22年度167件、23年度147件 482件とした。コンテンツの使用環境は、Producer for PowerPoint2003で作成しているが、PowerPointがインストールされている必要はない。

23年度分の配信分担金は、正会員31,500円から52,500円、賛助会員一律42,000円、23年度と22年度分は正会員34,650円から57,750円、賛助会員一律46,200円、21年度分は無料として、加盟校の教職員、賛助会員を対象に利用人数無制限で配信することにし、参加申し込みは、随時可能でWebから行うことにした。